

第3回委員会における各委員からのご意見と対応状況について【公開】

No.	議題	委員	意見要旨（実際の発言内容を整理して記述）	対応状況
1	環境影響評価について	笹原委員	・水質の調査で大腸菌などの項目が基準等を満たしていないことについて、現状を改善させるための方策を実施する方針があれば教えていただきたい。	委員会当日にご説明し、ご理解をいただきました。 (第3回委員会議事録のとおり(P. 6))
2			・今回の調査結果は、現状の値を把握したものであり、今後行ってくモニタリングのバックグラウンドをとるために行ったものと認識してよいか。	委員会当日にご説明し、ご理解をいただきました。 (第3回委員会議事録のとおり(P. 7))
3	建設予定地周辺の地下水調査の結果について	藤原委員長	・今回の地下水調査の結果を今後どのように役立てようとしているのか補足説明をお願いしたい。	委員会当日にご説明し、ご理解をいただきました。 (第3回委員会議事録のとおり(P.15))
4		藤原委員長	・大局的な地下水の流向が把握できたことにより、地下水モニタリング井戸の位置決定に寄与できるものである。一方で、流速のデータは今後、どのように活用するのか補足説明をお願いしたい。	委員会当日にご説明し、ご理解をいただきました。 (第3回委員会議事録のとおり(P.15、16))
5		笹原委員	・今回の調査結果から、流向・流速の観点からも大きな空洞がないことを確認できた。	
6		島岡委員	・最終処分場の遮水工、排水施設の設計を検討するうえで、非常に信頼性の高い調査結果が得られたと思う。	
7	施設の基本的な構造等について (中間覆土について)	笹原委員	・第2回の委員会で、現地発生土を中間覆土材として使用するのはやめてほしいと提案したが、発生土をスレーキング試験により評価し、覆土材としての使用の可否を判断することについて納得した。なお、少しでも不安があるのであれば、透水性が保証されている製品を使っていたきたい。	委員会当日にご説明し、ご理解をいただきました。 (第3回委員会議事録のとおり(P.19))
8		島委員	・覆土材の透水係数について、使用の可否を判断する具体的な指標はあるのか。数値で表すことのできるのであれば、一般の人も分かりやすい。	資料3で説明。
9		花嶋委員	・現地発生土を覆土材として利用したいとのことだが、敷地内のどこに保管しておくのか。	委員会当日にご説明し、ご理解をいただきました。 (第3回委員会議事録のとおり(P.22))
10	施設の基本的な構造等について (埋立地の造成設計について)	笹原委員	・埋立処分場内の切土法面における鉄筋挿入工について安定計算は行って設計する方針か。	委員会当日にご説明しました。 (第3回委員会議事録のとおり(P.23))

第3回委員会における各委員からのご意見と対応状況について【公開】

No.	議題	委員	意見要旨（実際の発言内容を整理して記述）	対応状況
11	施設の基本的な構造等について （埋立地の造成設計について）	石川委員	・処分場の南側法面部において、吹付法砕工を施工し、法砕内に植生を行うとのことであるが、植生工は具体的にどのようなものかを考えているか。また、エコサイクルセンターでは、あらかじめ採取した重要種の種子を事前採取し、整備完了後に復元しているが、そのような考えはないか。	委員会当日にご説明しました。 （第3回委員会議事録のとおり(P.23)）
12		永野委員	・吹付法砕工の法砕内部の植生工の施工について、県リサイクル認定品の堆肥を使用する考えはあるか。	石川委員との環境影響評価に係る個別協議の結果、現地の植生保護の観点から他地域の種子が含まれる植生基材の吹付は適切ではないことから、法砕内の緑化保護は取りやめました。
13	施設の基本的な構造等について （地下水集排水施設について）	島委員	・地下水集排水施設について、施設の設置者として住民に対し、「どのくらいの雨が降っても大丈夫」ということを設計で示すことができれば、安心してもらえるのではないか。	資料3で説明。
14		笹原委員 永野委員	・次回の委員会で、法面排水の設計の考え方について示してほしい。	資料3で説明。
15	施設の基本的な構造等について （遮水シートについて）	笹原委員	・遮水構造のスペックは標準的なものであるか。オーバースペックなものになっていないか。	委員会当日にご説明しました。 （第3回委員会議事録のとおり(P.28)）
16		永野委員	・現行施設（エコサイクルセンター）で採用されている遮水シートはどのタイプのものか。	委員会当日にご説明しました。 （第3回委員会議事録のとおり(P.31)）
17	施設の基本的な構造等について （保護マットについて）	笹原委員 永野委員	・底盤部及び法面部に施工する保護マット（不織布）について、最も大きい目付量を採用することだが、コストはどの程度かかるのか。また、オーバースペックなものになっていないか。	資料3で説明。
18	施設の基本的な構造等について （水質モニタリングについて）	藤原委員長	・漏水検知システムについて、物理式（水質調査法）は水質測定の連続性にもよるが、リアルタイムに漏水の有無を検知できるかどうかといった点において、電気検知式に劣るのではないか。	委員会当日にご説明しました。 （第3回委員会議事録のとおり(P.35~37)）
19		永野委員	・漏水検知管は何mピッチに施工するなど、具体的な計画はあるか。	資料3で説明。
20		永野委員	・「遮水シートの損傷事例を見ると、施工時の接合不良によるものや埋立作業によるものが多い。」とされているが、施設が出来上がってからでは、取り返しのつかない部分であるため、接合部の検査など、施工の際には細心の注意を払っていただきたい。	委員会当日にご説明しました。 （第3回委員会議事録のとおり(P.38)）

第3回委員会における各委員からのご意見と対応状況について【公開】

No.	議 題	委 員	意見要旨（実際の発言内容を整理して記述）	対応状況
21	施設の基本的な構造等について （浸出水処理施設について）	藤原委員長	・脱塩処理の方式や高度処理などの設備の組み合わせについては、今後の検討事項になるのか。	資料3で説明。
22		島岡委員	・ダイオキシン類をどこで除去するのかなどについては、現段階において示しておいた方がよい。	資料3で説明。
23	施設の基本的な構造等について （地下水モニタリングの箇所について）	藤原委員長	・地下水モニタリング井戸の詳細な検討は今後の検討事項になるのか。また、表流水の移動速度の方が地下水に比べて速いため、湧水地点でのモニタリングも含めて検討を行って欲しい。	資料3で説明。
24		笹原委員	・地下水位等高線の推定は、標高をもとに等高線を決めているため、地下水モニタリング井戸の詳細な位置決定は、今回の検討結果をもとに詳細な現地踏査を行ったうえで判断していただきたい。	資料3で説明。
25	施設の基本的な構造等について （展開検査場の設置箇所について）	笹原委員	・展開検査場の設置箇所については、作業量やトータルコストを加味して詳細に検討を行い、埋立地併設案とする理由を再整理してほしい。	資料3で説明。
26	施設の基本的な構造等について （被覆施設について）	島岡委員	・一般的に被覆施設は、建設費全体の何割かを占める部分であるため、コストダウンの観点から、作業性の面において許容できる範囲で、中柱を複数設けた場合も含め、構造の比較検討を行って欲しい。	資料3で説明。
27		笹原委員	・被覆施設の設計について、法面部に中柱を設置する案を含めて再検討してほしい。	資料3で説明。
28		永野委員	・被覆施設について、風の影響をどの程度受けるのか。	委員会当日にご説明しました。 （第3回委員会議事録のとおり(P.52)）
29		花嶋委員 島岡委員	・廃止後の跡地利用計画はないのか。跡地利用をどうするかということもある程度視野に入れて設計を進めるべきではないか。	委員会当日にご説明しました。 （第3回委員会議事録のとおり(P.54)）
30		谷地森委員	・施設の夜間照明はどのように検討されているか。冬場は日没が早い ため、周囲から視認されやすくなるのではないか。	資料3で説明。

第3回委員会における各委員からのご意見と対応状況について【公開】

No.	議 題	委 員	意見要旨（実際の発言内容を整理して記述）	対応状況
31	委員会後、個別に頂戴したご意見	笹原委員 永野委員	・現在、計画されている遮水構造は基準省令の要件に比して、相当堅牢な構造となっている。費用対効果の観点から妥当なスペックになっているか。 現行施設の構造をもって施工するケースとのコスト比較を行ってほしい。	資料3で説明。
32		笹原委員 永野委員	・物理式の漏水検知システムについて、イニシャルコストとランニングコストを示してほしい。	資料3で説明。
33		笹原委員 永野委員	・受け入れる廃棄物の性状を鑑みると、本来、中間覆土を行う必要のある廃棄物には該当しない。 覆土作業に係る人件費や資材調達のコストはどれだけ増加するのか。中間覆土を最小限に留め、ランニングコストを極力抑えたとともに、施設の延命化を図る必要があるのではないか。	資料3で説明。